

# 猫好き専用マンション

## 三好不動産、福岡に賃貸

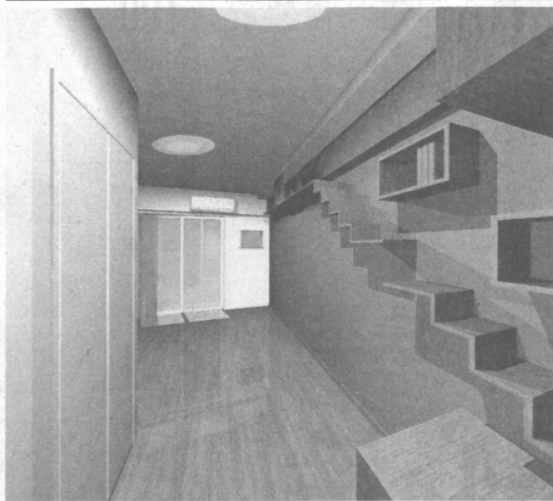
三好不動産（福岡市、三好修社長）は2019年、猫の飼い主専用のマンションを建設する。猫の毛繕いスペースを設けたり、見守りカメラを設置したりするなどして、猫と暮らしやすい環境を整える。全国では愛猫家の増加が続いており、福岡でもニーズを掘り起こせると判断。顧客の嗜好の多様化に対応し、新たな需要を取り込む。

## 共用部で毛繕い 部屋に猫用ドア

同社によると、九州で猫の飼い主専用のマンションを手掛けるのは同社が初めてという。原則、マンションに入居できるのは、猫の飼い主のみとする。犬など猫以外の動物のみの飼い主も入居できない。地下鉄藤崎駅（福岡市早良区）から徒歩5分圏内の土地に建設中で、来年2月下旬の竣工を予定する。マンションは6階

建て20戸。藤崎駅周辺は単身者のニーズが高いとみて、間取りは全部屋1Kとする方針だ。三好不動産が物件を保有し、管理や仲介も手掛ける。家賃は月7万円台

を中心とする方針。自社で開発から保有まで一貫して手掛けることで収益性の向上を図る。マンションの共用部には猫をシャンプーしたり毛繕いしたりできる「グルーミングスペース」を設ける。保護猫の情報を共有する掲示板を作った



り、ペット専用のゴミ置き場を設置したりもする。各部屋には飼い主がいなくても猫が自由に行き来できるドアを設けるほか、専用のステップ台も設置する。室内にはWEBカメラを置いて、外出先から猫の状態を把握したい飼い主のニーズにも応える。

ペットフード協会（東京・千代田）の17年の調査によると、猫の推定飼育数は952万6千匹と、同年にはじめて犬の推定飼育数（892万匹）を上回った。東京都内では、大手不動産などが猫専用の物件を扱っており、高い入居率を誇っていることから、福岡でも愛猫家のニーズを掘り起こせると判断した。

顧客の嗜好が多様化する中、三好不動産はこれまで学生や高齢者、外国人など対象顧客を絞った物件の開発を進めてきた。幅広い顧客にアプローチできるノウハウを蓄積できれば、管理物件の空室対策にもつながるとみて、猫専用物件の開発に力を入れる。

（三島大地）

室内には猫用のステップ台も設置する（写真はイメージ）